

第2回新居浜市長期総合計画策定市民会議保健福祉部会会議録

- 1 日 時 平成21年11月25日(水) 19:00～21:05
- 2 場 所 市役所 2階 21会議室
- 3 出席者
- 委員 ○部会長 井田 仁美 ○副部会長 加藤 照雄
 ○河端 幸枝 ○菅 敏子 ○白石 文男 ○田所 広文
 ○田那部 和明 ○野口 幹代 ○平田 ヤエ子 ○渡邊 照子
 (欠席) なし
- 事務局 ○専門部会長 近藤 清孝 ○専門部会副部会長 神野 洋行
 ○推進員 岡部 嘉幸、多田羅 弘、加藤 すみれ、山地 義之
 鈴木 一生、佐々木 文良、黒河 徹、曾我部 康志
 ○まちづくり担当 高本 光
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 事 (1) 現状・課題・第四次長期総合計画の取組みに対する意見交換
 (2) その他

井田部会長	<p>《あいさつ》</p> <p>本部会の会議は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」第3条に基づき公開となっておりますが、本日の傍聴者はありません。</p>
事務局	<p>【委員の出欠状況】</p> <p>委員の出欠状況は、委員10名のうち、出席者10名で全員が出席であることを報告</p>
井田部会長	<p>(1) 現状・課題・第四次長期総合計画の取組みに対する意見交換資料については、事前に送付いただいたので、お目通しいただけていると思うが、簡単に概要説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《施策体系検討ワークシートの説明》</p>
井田部会長	<p>次に、施策別評価について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《施策別評価の説明》</p>
井田部会長	<p>進め方として、「施策体系検討ワークシート」の現況・課題・第四</p>

野口委員	<p>次の取り組みについてテーマ毎に順次進めさせていただきます。</p> <p>まず、保健センター関係【健康づくり・保健医療・食育の推進・医療体制の充実】について、質問・意見などありませんか。</p> <p>健康都市づくり推進員はどういう活動をするのか。また、広がり弱いとはどういうことなのか。</p>
事務局	<p>体と心の健康づくりということで、ウォーキングマップを作ったり、ウォーキング大会を開催したり、オリジナル体操の普及や生き甲斐づくり・心の健康づくりの講演会などを行っている。</p> <p>広がりが弱いというのは、現在保健センターで活動している状況であるが、地域に帰って、自治会などでいろいろと活動するまでに至っていないところが、広がりが弱いところである。</p>
加藤委員	<p>年間にどれくらい活動しているのか</p>
事務局	<p>月1回の活動をしている。</p>
白石委員	<p>推進員は資格がいるのか。</p>
事務局	<p>資格は必要ない。</p>
平田委員	<p>高齢者が病院へ行って、薬をもらうが、その薬が合わない場合に、すぐに薬を出してもらえないという話を聞くが本当にでないのか。</p>
田所委員	<p>高齢者ということで、そういった縛りはない。個人の事情を聞いてみないとわからない。</p>
井田部会長	<p>次に進みます。【高齢者福祉】についてですが、高齢化が進展する中での現況が示されているが、ご意見・質問はありませんか。</p> <p>《意見・質問なし》</p>
井田部会長	<p>次に、「児童福祉」についてです。</p> <p>シートの現況にも記載があるように、保育所については、少子化でありながら入所児童数が安定傾向にあるということは、保育入所は増えていることになる。それに伴って、ニーズが多様化し、人材の確保や労働条件が厳しい中、保育ニーズに対応しきれない状況である。また、予算的にも厳しく老朽化した施設への対応もできていない現状である。</p>

事務局	公立保育所の民営化について、状況を聞きたい。
平田委員	<p>《保育所民営化の進捗状況を説明》</p> <p>保育所のトイレなど非常に老朽化している。何とかしてあげてほしい。</p>
事務局	施設の老朽化は、現況でも上げているとおり、十分認識している。
井田部会長	次に、「 障害者福祉 」についてです。障害者については、身体障害、知的障害、精神障害の3障害があり、障害者数の増加、障害の重度化といったことなどが現況に記載されていますが、如何でしょうか。
白石委員	障害者の自殺・自殺未遂といったことを聞き、社会問題化しているように思うが、どうか。
事務局	自殺については、障害者のところでは上げていないが、保健・医療のところでは自殺問題が深刻な状況となっていると現況に上げており、トータル的な問題として対応していきたい。
菅委員	障害者について市の方ではすべて把握しているのか。障害があっても手帳を持っていない人も見かける。幅広い支援が必要である。
事務局	資料のデータは、手帳所持者数となっている。障害があっても手帳を持っていない方もおられる。関係機関との連携の中で支援をしていく必要がある。
河端委員	ボランティアをしている。先日、日本ライトハウスに行った時、読書障害児が児童の4%位いると伺ったが、新居浜市では把握しているのか。
事務局	把握はできていない。
河端委員	読書障害とは、字が歪んで見える、逆さに見える、見えていても読めないといった障害で、音声とか文字で対応ができるが、学校ではただ読めないということだけになっているのではないのか。
事務局	検診や保育園などにおいて、早期に発見する必要がある。
井田部会長	発達支援課が新しくできている。そういったところでも幼児期から支援していこうとしているので、対応をできるようになればと思う。
菅委員	市役所では、障害者をどのくらい採用しているのか。積極的に採用してほしい。
事務局	市役所の障害者雇用は、法定雇用率以上の雇用を行っており、職員

野口委員	採用についても、採用計画の中で平成15年ごろから採用枠を設けて、毎年1名ずつ採用することになっている。
野口委員	くすのき園でボランティアをしているが、民営化後の市の見守り、関わりはどうなっているのか。
事務局	くすのき園の民営化は、職員異動の少ない、専門性のある安定した支援ができるように、指定管理者制度を導入し、社会福祉法人に管理運営を行っていただいている状況である。管理運営については、指定管理者の主体的に行うことになっているが、市の施設であるので、事業計画や事業報告を提出いただくほか、事故やトラブルなどの対応、運営上の課題などについては、その都度、関わりを持ちながら対応をしている。また、福祉施設では、県の監査もあるので、市も一緒に対応している。
渡邊委員	今治特別支援学校新居浜分校ができ、また高等部もできたが、2年後には、卒業生が出てくる。雇用情勢が悪い中、障害者が就職できる企業はあるのか。
事務局	具体的な企業となると何とも言えない。障害者雇用については、市の労政部門も含めて、ハローワークなどとも連携し、事業所への理解をしていただく必要がある。また、福祉的就労として、施設での就労継続事業・就労移行事業や通所授産施設があり、福祉的就労から一般就労へといった流れ（仕組み）も作っていく必要があると思う。
井田部会長	次に、進みます。「地域福祉」、「社会福祉制度」についてです。 社会福祉協議会や民生児童委員活動の充実、生活困窮者、介護保険制度、国民健康保険などについて、現況や課題が記載されているが、意見などありませんか。
田那部委員	地域福祉では、小地域活動がきめ細かい活動ができると考えている。新居浜市の場合は18の小学校校区で公民館があり地区社協もあるが、好意で公民館と一緒にやらせてもらっている感じである。地区社協の拠点をはっきり公民館であるという位置づけをお願いしたい。 また、地区社協で世話をする人が高齢化している状況があり、新たに活動する人材を地域で育てる必要がある。
野口委員	今は車社会であって、道路も車中心での道路となっている。地域で

田那部委員	<p>生活するため、道路を歩く人、自転車に乗る人のことも考えて、道路整備をお願いしたい。</p> <p>高齢者や障害者の社会参加、ふれあい、支えあいなどを考えるとき、参加したり、利用したりする移動手段として、交通体系を考える必要がある。</p>
事務局 井田部会長	<p>運輸観光の方で、都市交通計画を策定し、その中で検討されている。地域でのネットワークが必要である。横のネットワークもそうであるが、高齢者と子供など各年齢毎での縦のネットワークも必要である。</p>
井田部会長	<p>次に、進みます。テーマは、「アセットマネジメント」です。</p> <p>公共施設の修繕や建て替えなど施設の維持管理に関する内容ですが、いかがでしょうか。</p>
白石委員	<p>福祉施設の老朽化がいろいろ書かれているが、建て替える順序は決まっているのか。</p>
事務局	<p>現在、市として建て替えが決まっているのは、慈光園である。それ以外は、第5次の長期計画の中で決めていかなければならない。若水乳児園・若宮保育園、東新学園、清光寮、身障センターの建て替えについても、財政状況を踏まえ、時期や順序を決めていく必要があるほか、既存施設の耐震化や維持修繕についても今後どうしていくかを考えていかなければならない。</p>
井田部会長	<p>(2) その他</p> <p><u>議題2の「その他」</u>についてです。</p> <p>【次期開催日】</p> <p>時期開催日については、各委員の調整の結果、12月24日(木) 19:00～で決定する。</p> <p>場所については、事務局で会場を確保していただき、改めて案内する。</p>